

# 福祉施設経営相談のQ&A

経営相談コーナーに寄せられた質問及び回答集の中から掲載します。

## ○予算作成段階での経理区分間繰り入れについて

Q 予算作成段階で、赤字が発生する事業については、他の赤字事業からの経理区分間繰り入れで収支を合わせてよろしいでしょうか。

A 事業によっては、当初計画段階から赤字やむなしの事業も予想されますが、赤字が見込める事業から安易に赤字補填するのは問題です。なぜ赤字計画になるのか、理事会でも充分な検討が欠かせませんので、赤字事業はそのまま計画する必要があります。

黒字が見込める事業からの補填を最初から計画しますと、いつまでも当該事業の事業改善は図れないこととなります。

## ○予備費について

Q 支出が予算を超過するおそれがあり、予備費を充当しようと思いますが、会計単位全体の予備費にはまだ余裕があるものの、当該経理区分の予備費では不足します。他の経理区分の予備費を充当してよいでしょうか。

A 予算の作成に関しては、会計基準で具体的な定めはありません。したがって、法人の経理規程で、予算の作成方法、補正予算の作成時期、予備費の流用などを具体的に定めておくべきでしょう。

ご質問のように、経理区分間で予備費に過不足が生じる時は、補正予算を作成した方がよいでしょう。

## 経営相談のご案内

★ 鹿児島県社会福祉協議会  
福祉施設経営相談コーナー

TEL 099-1257-9885  
FAX 099-1250-9363

## 平成19年度実績ジュニア福祉体験

平成20年1月20日現在 65回実施 56校、1,904名が参加しました。

## 見て、聞いて、触って、福祉体験

子ども達は、福祉体験に目を輝かせています。車いす体験、高齢者疑似体験を通して子ども達の気持ちに大きな変化が現れています。

### 子ども達からの感想

“車いす、高齢者疑似体験を通して”

車いすを押す人は、座っている人を気遣いながら慎重にしないとイケない。

私たちは、障がいもなく学校に行けていい、おじいちゃんおばあちゃんを助けてあげたい。

優しい気持ちで接したい。

自分一人の力で動くことのできる私は幸せな人間だと思います。

これからの福祉について考えたい。お年寄り、障がいのある人を助けるボランティアをしたい。

はい！それでは、から始まるジュニア福祉体験。

子ども達が、お互いの気持ちを理解しながら、高齢者や障がい者の大変さや接し方を学び、勉強する場です。



漆小学校（高齢者疑似体験）



西陵中学校（車いす体験）

### 【お問い合わせ先】

鹿児島県介護実習・普及センター  
〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号（かごしま県民交流センター内）  
TEL 099-221-6615 FAX 099-239-0384  
[E-mail]kaigo@kagoshima-pac.jp [URL]http://www.kagoshima-pac.jp

休館日：月曜日  
（祝日の場合は翌日）